

# OUR ACTIONS

CSR Report

VOL.3



## グリーが皆さまに伝えたい「インターネットの正しい怖がり方」

グリーは、これまで SNS「GREE」やモバイルゲームの運営において、お客さまが安心してサービスを楽しめる環境づくりを進めてきました。

その中で得られた知識や事例をさまざまな世代の方にお伝えすることは、「インターネットを通じて、世界をより良くする。」という理念を掲げる企業としての使命であると考えています。

いつの日か「ネット炎上」や「ネットいじめ」などのインターネットトラブル、そしてインターネット犯罪のない社会を実現し、より便利で豊かな社会の発展に貢献できるようグリーはインターネットの最前線から発信を続けていきます。



### 特集: 安心安全な インターネット社会の構築

- ACTION1 啓発講演 > P.4
- ACTION2 啓発アプリ > P.6
- ACTION3 情報モラル教材 > P.7

### 特別対談 > P.8

株式会社フジテレビジョン 代表取締役社長 亀山 千広 × グリー株式会社 代表取締役会長兼社長 田中 良和

「つよみ」を生かす 私たちにできる社会貢献のカタチ

### 施策紹介 > P.10

グリーが考える3つのこと。

# グリーの情報モラルにかける思いを、「伝道師」チームが全国に届けます

TOPICS 東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課主催  
「企業による教育プログラム体験」を実施



東京都の教育関係者を対象にした研修会をグリー本社で開催しました。現役の教員の方々に、グリーの講演や啓発アプリを体験していただきました。



情報モラルの啓発講演は、生徒だけでなく教育関係者などさまざまな層の方々に対象としています。講座の都度、対象に応じて資料を変えるなどして、分かりやすく、より多くの方々にメッセージを届ける活動を行っています。

## インターネットトラブルがない社会の実現に向けて

2012年から始めたインターネット利用に関する啓発講演は、口コミで次第に依頼が増え、現在では年間300回以上行われています。

インターネットは単なる道具であり、それをどのように活用するかは私たち一人ひとりの使い方にかかっています。インターネットと現実に境界はない、そんな「ネットの正体」を伝えることで、少しでも問題を防ぐことができるのではないかと考えています。

講演では具体的な実例を挙げながら、インターネット炎上の恐ろしさや、SNSを利用する際に気を付けるべきことなどを説明するとともに、「絶対に失敗しない方法」も伝えています。『インターネットは玄関の外側』という標語を発信していますが、これは自宅の玄関の外に貼れないような情報は、当然ネットにも書いてはいけないというメッセージです。あえて玄関という表現を用いたのは、

「インターネットは匿名の空間などではなく、ささいな情報からも身元が特定され、取り返しのつかない事態に発展することがある」ということを伝えるためです。

また、インターネットに特有のモラルが存在するかのような意味で「ネットモラル」という言葉が使われることがありますが、人々がこの言葉を使わなくなるようにすることも目標の一つです。それは、インター

ネットでも現実でも同じモラルを持って振舞わなければならないということが認識されれば、「ネットモラル」は自然となくなる言葉だと考えているからです。そして、いつの日かインターネットトラブルがない社会が実現することを願っています。

こうした大きな目標の実現に向けて、グリーは微力ながら、地道な取り組みを継続してまいります。



コーポレートコミュニケーション部  
安心・安全チーム  
小木曾 健



コーポレートコミュニケーション部  
政策企画チーム  
鈴木 織江

### 講演を受けて

川越市医師会  
川越看護専門学校の学生

【学生代表】

軽い気持ちで投稿した画像や言葉が、あっという間に意図せず多くの人に伝わってしまうのがとても怖かったです。これまでもニュースで炎上や事件の話聞くことはありましたが、実は身近で起こり得る問題なのだと思えることができました。





**ACTION 2**

特集：安心安全なインターネット社会の構築  
啓発アプリ

情報モラルを学ぶ新しい啓発教材  
「魂の交渉屋とボクの物語 - Soul Negotiator -」



啓発アプリ学習を体験して  
千葉県 浦安市 サッカークラブチーム  
プリオベッカ浦安

7月29日、千葉県の高洲公民館にて、サッカークラブのプリオベッカ浦安に所属する中高生を対象に、啓発講演と啓発アプリの体験授業が行われました。  
参加した子どもたちからは、「楽しく情報モラルを学ぶことができた」という声のほか、保護者の方からは、「子どもだけではなく、親子で一緒に勉強していくべき内容」というご意見を頂きました。

スマホを持ち始めた中高生が共感しやすい世界観と、協力しながら学べる仕組み。  
ストーリーから学ぶ情報モラル

グリーは、青少年のインターネットリテラシー向上を目的としたさまざまな活動の一環として、無料の啓発アプリ「魂の交渉屋とボクの物語 - Soul Negotiator -」を制作し、誰でも利用できるよう一般公開しています。スマートフォンを初めて持つことの多い中高生以上を主な対象とし、

自ら手に取ってもらえるよう、魅力的な世界観やキャラクターデザインのほか、選んだ選択肢によってラストシーンが変わるなどシナリオにもこだわりました。シナリオは千葉大学教育学部藤川大祐教授監修のもと、事例を踏まえた会話形式で設計しています。自分がゲームの主人公

になった設定で話が進むため、当事者意識を持って学習することができます。このアプリを、手軽に楽しみながら学べる啓発のツールとして一人でも多くの方にプレイしていただき、より良いインターネット利用の一助につながればと願っています。

【情報モラルに関する幅広いテーマをカバーしたコンテンツ】

- ネット炎上  
不適切投稿  
炎上事件への対応
- 出会い・交際  
異性との出会い  
児童ポルノ
- ネット依存  
長時間利用  
利用料金
- ネット犯罪  
架空請求  
アカウント乗っ取り
- ネットいじめ  
言葉の助遣い  
既読無視

たまボク 🔍



【学習の流れ】

- 1 | テーマを選ぶ
- 2 | ストーリーを読む
- 3 | 選択肢を選ぶ
- 4 | 復習する



啓発アプリを用いた授業の組み立て方や、学習のねらいが分かる指導ガイドも無料で配布しています。

**ACTION 3**

特集：安心安全なインターネット社会の構築  
情報モラル教材

「事例に学ぶ情報モラル教材」  
で情報教育を支援

情報モラル教育のノウハウをもとに教材を制作

グリーは、子どもたちや教職員、保護者の方々への講演会を通じて得た教育現場からの要望や、SNS「GREE」の運営で得た経験をもとに、青少年の情報モラルやインターネットリテラシーの向上と、情報教育の支援を目的とした情報モラル教材を作成し、無料で配布しています。

この教材は、実際に起こった炎上事件の事例からインターネット上での発言や振る

舞いについて学べるようになっています。

2015年には、新たに小学校高学年(4~6年生)を対象とした小学生版の教材の提供を開始。2011年よりグリーが取り組んできた情報モラル教育のノウハウをもとに、小学校の先生や教育関係者の協力を得ながら作成しました。現在、教材の発行部数は約80万冊に上ります。



教材は、①パワーポイントのCD-R、②指導者用手引書、③児童・生徒用冊子の3点をセットにして構成されており、インターネットの良い活用事例、トラブル事例、炎上事例の3つを軸に、インターネット利用時の注意点を学んでいただけます。

TOPICS | グリーオリジナルの「情報ルール」が生徒手帳に掲載されました

グリーの教材「事例に学ぶ情報モラル」の「情報ルール」が、株式会社ラーンズが製作する生徒手帳に2015年から掲載されています。生徒手帳には、そのほか防犯ルール、交通ルールなどのオリジナルコンテンツが掲載されており、「情報ルール」についてはグリーの全面協力で作成されました。2016年版においては、3万人以上の中高生の生徒手帳に掲載されています。



# 「つよみ」を生かす 私たちにできる社会貢献のカタチ

2016年5月、VR(バーチャルリアリティ:仮想現実)領域における業務提携を結んだフジテレビとグリーン。  
今回は、フジテレビ社長・亀山千広氏にお時間を頂き、  
CSRにかける思いや特色ある活動について、グリーン社長・田中良和と共に語り合う機会とさせていただきました。

## 特別対談

グリーン株式会社  
代表取締役会長兼社長

田中良和

×

株式会社フジテレビジョン  
代表取締役社長

亀山千広

### 亀山千広

1956年生まれ。80年(株)フジテレビジョン入社。ドラマプロデューサー、編成制作局長、映画事業局長などを経て、2012年常務取締役。13年6月代表取締役社長に就任。

## 私たちが思うCSRのカタチ

田中 私たちは、事業が持続的かつ健全に成長するためには、社会や業界へ知見・利益を還元し、その発展に貢献していくことが重要だと考えています。「インターネットを通じて、世界をより良くする。」というミッションにもある通り、グリーンが提供しているサービスは、基本的にインターネットを活用してお客さまの生活を豊かで便利なものにすることを目指しています。そしてそれらのサービスを皆さんに安心安全に利用していただくことが何よりも大切です。この実現に向けて小中高生をはじめさまざまな年代の方々を対象として、正しいインターネットの利用を啓発するアプリや教材を作成し無償で提供したり、日本全国で講演を行ったりしています。

亀山 インターネットは非常に便利なメディアであるにもかかわらず、間違った使い方からトラブルにつながることもあるのをとても残念に感じています。今、教えていただいた取り組みは、そうしたトラブルを減らしていくために有効で意義のある活動だと思えますので、ぜひグリーンさんの力で広めてほしいですね。

田中 ありがとうございます。グリーンだからこそより良くてできる取り組みを追い求めながら、地道な活動を続けていきます。御社ではCSRについて、どう考えていらっしゃるんですか。

亀山 フジテレビは放送事業者として極めて高い公共的使命があり、本業そのものがCSRだと考えています。報道や情報番組はもちろん、エンターテインメントなども

人々が豊かな生活を送るための重要なコンテンツです。ただ、普段テレビを通して番組を提供しているときは、視聴者一人ひとりの顔が見えません。ですので、「お台場みんなの夢大陸」といった夏のイベントのように、直接お客さまと接する機会を大事にしたいと思っています。

田中 それはグリーンにも当てはまることだと感じます。ユーザー数やインストール数など数字にまつわる話が目立つことがあり、それ自体は必要なことなのですが、私たちがインターネットを通じて提供しているサービスの向こうには、一人ひとりのお客さまがいるということを忘れてはいけません。社員全員が集まる場でもよく言うのですが、ひたすらお客さまとプロダクトに集中すること、



この2つを徹底しないと多くの人々に本当に喜んでいただけるサービスは生まれないと考え、日々実践しています。

## フジテレビとグリーンが描く 未来の可能性

田中 良質なVR体験機会の提供には、技術的な質の高さはもちろんのこと、斬新で

魅力的なコンテンツが欠かせません。映像コンテンツ制作力や企画・キャスティング力に秀でたフジテレビさんとの協業を通じて共に挑戦できるのはこの上ない好機であり、当社の開発力とのシナジーによって何を創造できるのか楽しみにしています。今のところそのエンターテインメント性にフォーカスが集まっているVRですが、同時に社会的な有用性に対する注目もますます高まっています。例えば教育や医療、あるいは避難訓練といった災害対策など、広く社会貢献の分野でも今後活用が進んでいくと思います。

亀山 そうした可能性は大いにあり、私も思っています。以前フジテレビが制作したコンテンツの中で、熊本城の動画をドローン

で撮影したことがありました。先般の被災後の再建にあたり、その時の映像を無償提供させていただいています。今後はVRで細部まで撮影された映像が修復、復興のお役に立てる、そんな貢献の形も考えられるのではないのでしょうか。

田中 最後に、グリーンに期待される場所をお聞かせください。

亀山 今回、田中さんこうしてお話をしてみて、意を同じく

していることが分かりました。ゲームがヒットする、番組が当たる、会社が発展するというのも私たちの誇りの一つなかもしれませんが、CSR活動も含め「グリーンって面白いよね」「フジテレビってあんな活動もやっているんだ」と言われることが、社員の励みや勲章になると思っています。グリーンさんとは、そんな誇りが持てる仕事をこれからも一緒にやっていきたいですね。

## グリーが考える3つのこと。

グリーは、より良く社会に貢献できる姿を追い求める中で、3つの柱を設けています。

今号で特集した「安心安全なインターネット社会の構築」に加え、

「インターネット産業の強化と発展」および「企業市民として社会の発展に貢献」を実現するための

代表的な施策を紹介します。



### 千葉大学の授業を共同プロデュース



ゲームを主力事業とするグリーの社会貢献のあり方の一つとして、人を引きつける「ゲームのチカラ」を理解し教育環境で活用できる人材の育成を目的に、千葉大学教育学部の授業をプロデュースしています。授業の中で、グリーのエンジニアやクリエイターと千葉大学教育学部の学生が、「協働学習」という難しいテーマ設定のもと知恵を合わせ協力し、4つの学習ゲームが誕生しました。2016年2月には千葉大学教育学部附属小学校の2年生のクラスにて実証研究を行い、未来の教育のあり方について考察しました。

【制作した学習ゲーム】



### 環境保全活動への社員ボランティア参加



グリーでは、社員が地域社会に貢献できる機会の提供と参加の推奨をしています。その一つとして、環境保全活動である富士山麓の清掃や東京都の緑化貢献プログラムに、経営陣も含めた社内公募で集まった社員ボランティアが参加しています。2016年5月に開催

した、東京都の緑化に貢献する独自の取り組み「森づくりプロジェクト」は社長の田中も参加し、2016年新卒社員と共に補植活動を行いました。



この冊子は二度楽しめるものになっています。



スマートフォン用ARアプリ「COCOAR2」を使い、写真を読み込むと、さらに詳細な情報や動画をご覧いただけます。



### アプリ「COCOAR2」の使い方

- 1 「COCOAR2」(無料アプリ)をダウンロード  
 iPhone、iPadをご利用の方 で検索  
 Androidをご利用の方 で検索
- 2 「COCOAR2」を起動  
 ダウンロードが完了したら、「COCOAR2」のアイコンをタップして起動させます。
- 3 冊子内の対象ページをスキャン  
 このマークがある写真全体が画面に収まるようにかざしてください。スキャンが完了すると、リンク先のコンテンツが表示されます。

※「COCOAR2」はstartialabのサービスです。 ※通信費は別途発生いたします。 ※オフラインではご利用いただけません。 ※本サービスは2017年9月26日(火)まで楽しむことができます。



グリー株式会社  
東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
<http://corp.gree.net/jp/ja/csr/>

2016年9月発行

